

新年のごあいさつ

知内町議会議長

伊藤 政博



新年あけましておめでとございませう。新しい年が町民の皆様にとって飛躍の年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

輝かしい新年を迎えるにあたり、町議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、日頃から町議会に対して深いご理解とご支援を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年3月22日に任期満了に伴う議員選挙が行われました。新たな体制の下「知内町議会基本条例」の理念についてしっかりと向き合い、町民から信頼される議員・議会を目指し、議会活性化に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。とりわけ、将来の知内町議会を担っていただけるような人材が数多く出て来るように、議会及び議員の気持ちや取り組みを強く伝えていきたいと思っています。

昨年2月からの新型コロナウイルス

感染症の広がりを受け、町における事業やイベント開催が中止となる中、議会活動も制限を受けたものとなりました。

1月から2月に開催された「地区別議会報告会」では、13町内会、166名の方々にご出席いただき、議会活動や町政に対するご意見やご要望をいただきました。本年も町内会の皆様との懇談を予定しておりますので、報告会が実り多いものとなるよう多くの方々のご出席をお願いいたします。

また「おしゃべり議会カフェ」については、コロナ禍の影響から8月、10月と2回の開催に留まりました。延べ30名の方々のご出席があり、町政及び町議会に対する質問や厳しい意見をいただきました。町議会では、この議会カフェについて議会報告会との差別化を図り、町民からの声を直接聞くだけでなく、議員個々の考えや意見を述べることもできる場と位置付けています。今後多くの皆様に参加していただき、たくさん意見交換ができるよう、この取り組みを積極的に進めていきたいと考えています。

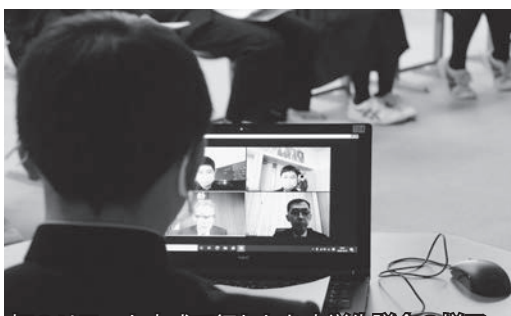
さらには、4回目の開催となりました「中学生議会」については、コロナ禍の影響を受けて、インターネット回線

を用いたリモート方式での開催となりました。10名の中学3年生議員から、身近な生活に関わる問題や観光振興など町政に関することについて、町長、教育長に一般質問が行われました。一般質問する様子からは、緊張感が伝わるものも感じさせられました。この体験をきっかけに、町政への関心を強めていただくとともに、将来の町議会を担っていただけるような大人に成長してくれることを期待しています。

本年度における当町の出来事を振り返ってみると、コロナ禍のため町内における話題が少ない中、知内高校野球部が10月に開催された第73回秋季北海道高等学校野球大会で、16年ぶりに準決勝進出、4強入りを果たし、町民に明るい話題を提供していただきました。今後も知内高校や知内中学校、各小学校の生徒・児童の頑張る姿や活躍が町を元気づけてくれるよう期待したいと思います。

今年「知内町まちづくり第6次総合計画・後期実施計画」のスタートの年となりますが、現在、町では認定子ども園開設や小学校統合、知内高校のあり方など、とりわけ将来を担う子どもたちの教育環境が大きく変わるような政

策課題を抱えています。町議会では、本年1月に知内高校3年生と地域課題を考えるワークショップを開催する予定となっています。初めての試みとなりますが、生徒との意見交換から得られるものが、当町の未来に反映させることができるよう勧めていきたいと思っています。



初のリモート方式で行われた中学生議会の様子